Advancing with you
MS&AD Holdings
MS&AD INSURANCE GROUP

MS Amlin Underwriting Limited

2022年7月19日（火）

発表者 ー Johan Slabbert、MS Amlin Underwriting Limited（CEO）

1. 2021年度の振り返り

2. 2022年度業績のアップデート

3. 2025年度に向けた戦略

1. 2021年度の振り返りー 通期業績

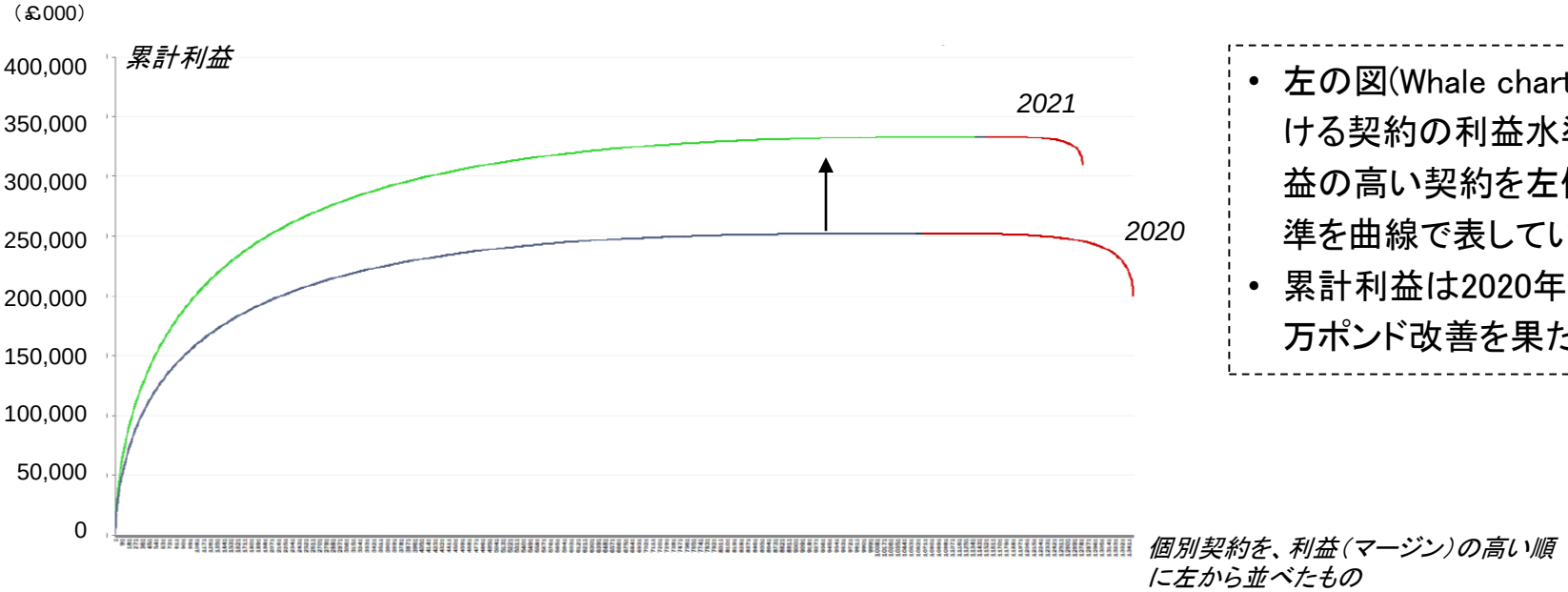
- ✓ 税後利益は3700万ポンドとなり、2020年度対比で1億9900万ポンドの改善
- ✓ 引受を撤退した種目の影響を除いたベースでは1億2700万ポンドの利益を達成
- ✓ 引受利益は1500万ポンド、コンバインドレシオは98%
- ✓ 大半の種目で、計画を上回る実績をあげている
- ✓ レートアップは +7.6%の計画に対して、+8.5%を達成
- ✓ 損害率はロイズ市場平均と同程度になった （AUL 59%、ロイズ58%）
- ✓ 包括改善取組（プロジェクト・リスボン）を完遂

	2021年度計画	2021年度実績	差
グロス保険料（単位:100万ポンド）	1,512	1,340	-172
損害率	54%	59%	+5pt
除く特殊要素の損害率＊	47%	46%	-1pt
手数料率	28%	26%	-2pt
事業費率	14%	13%	-1pt
コンバインドレシオ	95%	98%	+3pt
除く特殊要素のコンバインドレシオ*	91%	89%	-2pt

＊自然災害およびCovid-19損失、過年度備金の変更（マネジメントマージンを含む）、為替影響を除外

1. 2021年度の振り返り ー 収益力の改善

✓ 引受厳選の徹底により、累計利益（グロスマージン）は大幅に改善



- 左の図(Whale chart)は、AULで引き受ける契約の利益水準を示している。利益の高い契約を左側から並べ、利益水準を曲線で表している。
- 累計利益は2020年度対比で1億1100万ポンド改善を果たしている。

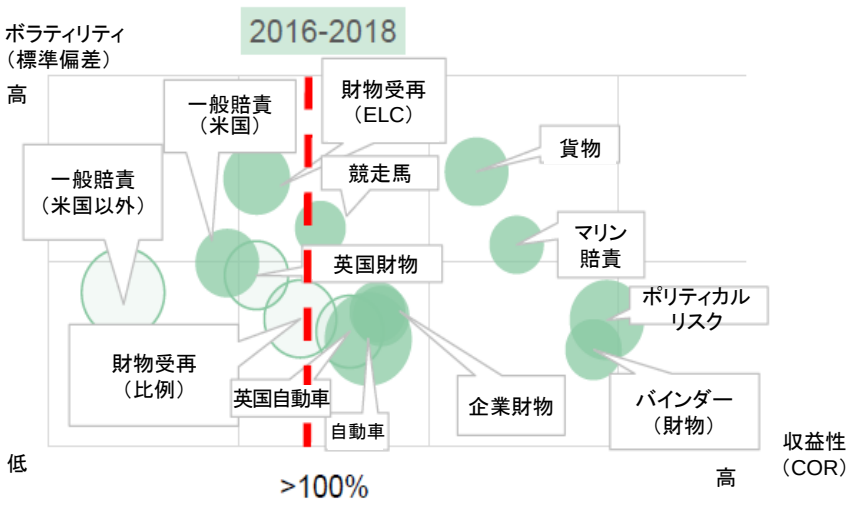
✓ 一般リスクの損害率は改善

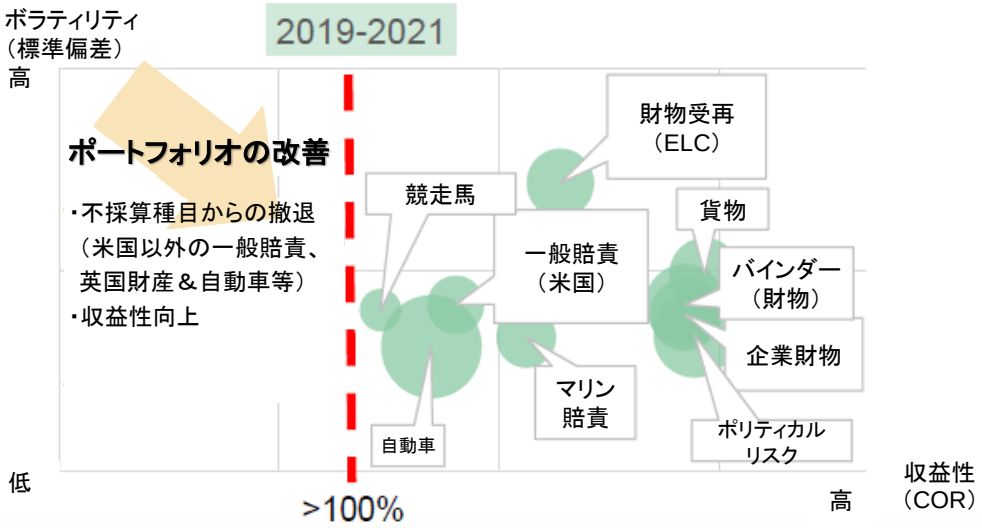
✓ レートアップは計画を上回っており、2022年度にその効果を取り込める見通し

✓ エナジー、マリン、クライシスマネジメント等の領域で好調な実績

1. 2021年度の振り返り ー 収益力の改善

✓ 一般種目の大半は、ポートフォリオの改善、レートアップ取組、引受厳選の徹底等により、収益性が向上

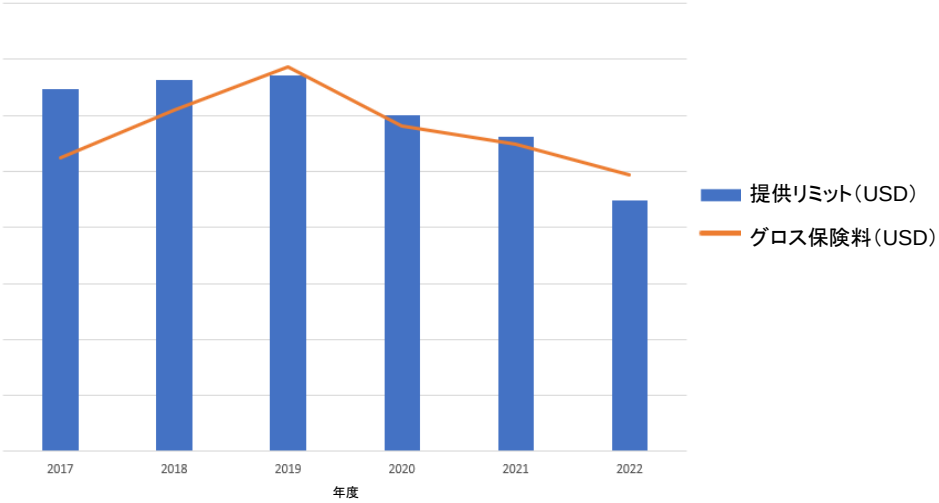




1. 2021年度の振り返り－ 北米の自然災害エクスポージャー

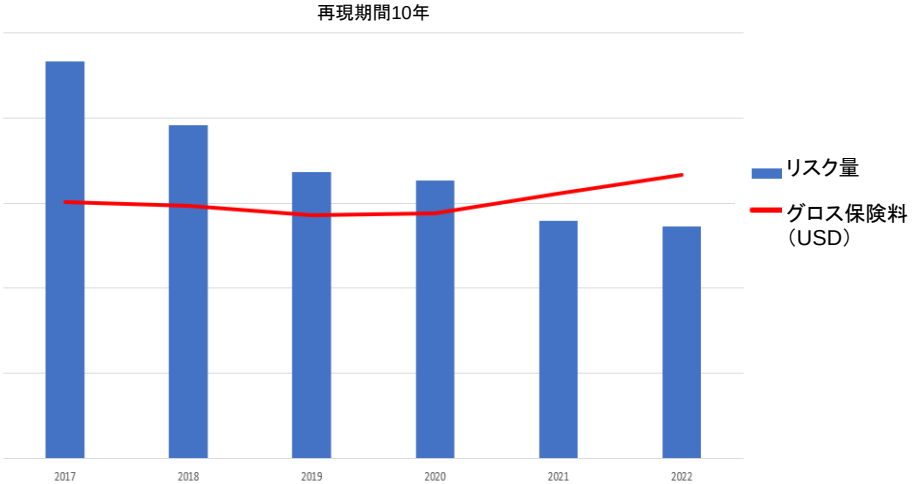
- ✓ 頻発・激甚化している竜巻やデレーチョ等の自然災害のエクスポージャーを削減
- ✓ フロリダおよびメキシコ湾岸における地域のエクスポージャーを削減
- ✓ 低層から高層レイヤーへの移行を継続
- ✓ 引受規律を維持すると同時にレートアップを推進

1）特定顧客（米国）に対する提供リミット



特定大口顧客に対し、エクスポージャー（低層レイヤー）の削減を行った事例

2）米国全体のエクスポージャーを削減した一方、保険料の増収を実現



2. 2022年度業績のアップデート ー 見通し

AULの2022年度通期の業績は、ウクライナ紛争および第1～第2四半期の運用損失による影響を受ける見通し

AULは、2022年度事業計画とのギャップを埋めるために下記の取組みを実施中

- 継続して保険引受利益の確保に注力
- アウトソーシングの推進による業務効率化
- 引受停止した撤退種目に係る過年度ポートフォリオの外部移転
- 事業費の削減取組

2. 2022年度業績のアップデート ― ウクライナ紛争および第1四半期

- ウクライナの紛争は継続しており、いまだ不確実性が高いことから、最終的な損失規模を予測することは難しい状況にある
- AULは、主にポリティカルバイオレンスおよびポリティカルリスクで影響を受けている
- 影響を受ける可能性のある保険契約の更改を停止し、エクスポージャーの削減を進めている（特にロシアに対する制裁に関連する契約には速やかに対応）
- 第1四半期の業績は、ウクライナ紛争に伴う備金計上や、地政学的な不安定性に伴う運用損失により大きな影響を受けた

2. 2022年度業績のアップデート ー 戦略的取組

✓ AULでは、ガバナンスのフレームワークを確立しながら、重点分野における取組みを遂行している。

アンダーライティング	人財	財務および資本	事業効率性
↓	↓	↓	↓
引受ポートフォリオの最適化	企業文化の醸成と人財育成の強化	内部モデルの活用高度化	効率的な事業体制の構築

アンダーライティング	• 収益性の低い保険種目に対する対策を実施 • 2022年／23年に成長を目指す領域の検討 • データ分析ツールを活用（過去のデータの分析）
財務および資本	• 内部モデルの改定・強化 • 過年度ポートフォリオの外部移転の検討
オペレーション	• 事業効率化に向け、業務の第三者委託を検討 • 2022年の事業費削減目標の達成に注力
人財	• 最適な組織体制の検討 • 適正な人財配置 • 新卒採用等の新たな人事制度の導入

3. 2025年に向けた戦略 ー MS&ADの一員として目指す姿

AULの目指す姿
「伝統と潜在力に相応しいマーケットプレゼンスを備えた一流の会社となる」

- グロス保険料規模で、中期的に18億ポンドを超える規模まで成長する
- 大規模ロスイベントがあっても、持続的な利益を生み出し、MS&ADの海外事業の牽引役となる
- スペシャルティ種目の引受に関する専門性やESG取組におけるノウハウを通じて、グループ内のシナジー創出に貢献する
- 契約者の温室効果ガスの排出状況のモニタリングや、再生エネルギーの引受等の気候変動関連の取組を通じて、サステイナビリティを推進する

3. 2025年に向けた戦略 ー 2025年度に向けた取組概要

- エネルギーやクライシスマネジメントなど、AULが十分な実績や強みを有し、収益性の高い種目を拡大することにより、グロス保険料で18億ポンド、**コンバインドレシオで約90%**を目指す
- ハード化が続くことが想定される種目（例：ポリティカルバイオレンス／ポリティカルリスク）において、引き続きレートアップを取り込む
- 過年度ポートフォリオの外部移転により、備金変動に係る収支のボラティリティの抑制を図るとともに、リスク資本の削減・業務効率化・システム合理化などを推進する
- 一部バックオフィス業務などの第三者委託（アウトソーシング）や自動化を通じ、経費削減および業務効率化につなげる
- ロイズと連携し、データ、引受管理、クレーム、ESGなどの分野で、同市場の近代化やデジタル化を推進する
- サービスパートナーであるMS Amlin Corporate Servicesと協力し、資産運用戦略およびITインフラを見直す